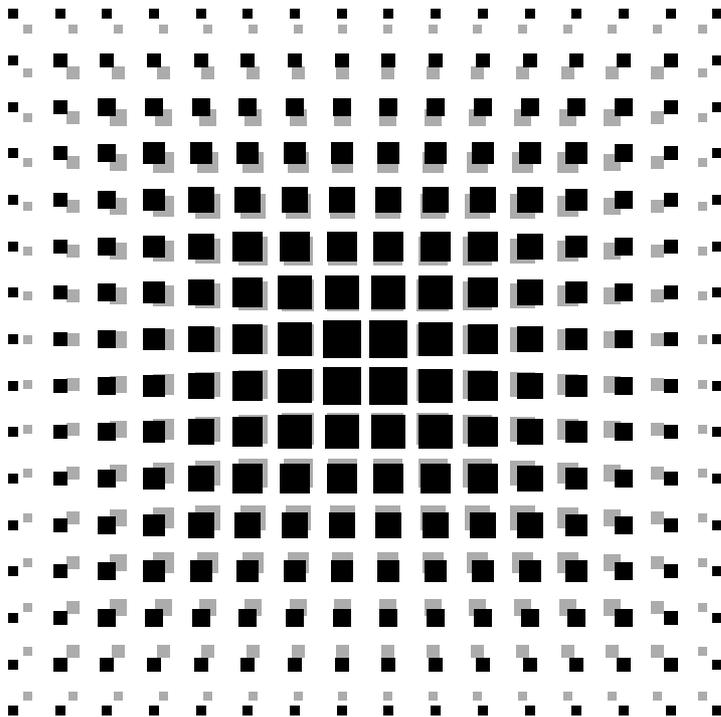


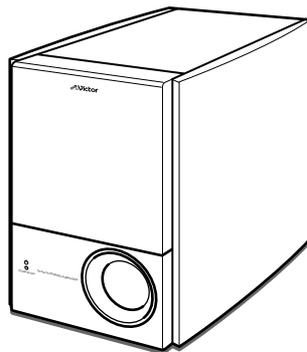
パワードサブウーハー 型名 **SP-PW100**

Powered Subwoofer SP-PW100



目次

安全上のご注意	2
付属品の確認	5
使用上のご注意	5
設置上のご注意	5
各部の名称と機能	6
接続	7
操作方法	9
故障かな?と思う前に	10
仕様	10
ビクターサービス窓口案内	11
保証とアフターサービス	裏表紙



ご購入いただき、ありがとうございます。

△ご使用前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使
いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要
なときにお読みください。

この「取扱説明書」は再生紙で作られています。

安全上のご注意 –はじめにお読みください–

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示



電源プラグを抜く

警告

異常時の注意

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない。火災や感電の原因となります。



電源プラグを抜く

- ・煙が出ている、へんなにおいがするなど異常のとき
- ・内部に水や金属物が入ってしまったとき
- ・落としたり、キャビネットが破損したとき
- ・電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）

このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

電源コードについて

電源プラグの差し込みが不完全な状態で使わない



- ・接触不良により発熱し、火災や感電の原因となります。
- ・たこ足配線も、コードが熱をもち危険ですのでしないでください。

電源コードを加工したり、無理な力を加えたりしない。また家具などの重い物をのせない



- ・コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
- ・芯線が露出するなど、コードが傷んだ場合は、使用を中止し、販売店にご相談ください。

電源プラグにほこりや汚れがついた状態で使わない。また金属物を近づけたりしない



- ・電気がほこりや汚れ、金属物を伝わり、火災や感電の原因となります。
- ・半年に一度は、プラグをコンセントから抜いて点検し、プラグとコンセントの間にたまったほこりや汚れを取り除いてください。

警告

ご使用について

電源は交流 (AC) 100Vを使う



- ・この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車や船舶などの直流(DC)電源に直接つないだり、指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

機器の上に、液体の入った容器や小さな金属物をおかない。液体が内部に入った場合は、電気が液体や金属部を伝わり、火災や感電の原因となります。



機器内部に金属物や燃えやすいものを入れない



- ・火災や感電の原因となります。
- ・特にお子様にはご注意ください。

ネジをはずしたり、分解、改造したりしない



分解禁止

- ・内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
- ・内部の点検や修理などは、販売店にご依頼ください。

水をかけたりぬらしたりしない



水ぬれ禁止

- ・機器を水がかかる場所で使用したり、水にぬらす(つける、かける、こぼす)などして使用すると漏電によって火災や感電の原因となります。
- ・万一、内部に水が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。

ぬれた手でさわらない



ぬれ手禁止

- ・機器をぬれた手で扱っていると感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



水場での使用禁止

- ・風呂場やシャワー室では使用しないでください。漏電によって火災や感電の原因となります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器の金属部、電源プラグに触れない



接触禁止

- ・誘導雷により、感電の恐れがあります。

設置について

本機の置き方は



- ・あお向け、横倒し、逆さま、通風孔をふさいだり、風通しの悪い狭い所、などに設置すると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。
- ・機器は壁から10 cm以上、天面から10 cm以上、両側は10 cm以上の間隔をあけてください。間隔をあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

⚠️ 注意

電源コードについて

電源プラグの抜き差しはプラグを持つ



- ・コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



- ・感電する恐れがあります。

ぬれ手禁止

熱器具に近づけない



- ・コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。

接続の前に接続する全ての機器の電源を「切」にしておく(電源プラグをコンセントから抜いておく)



- ・電源が「入」の状態で接続すると、突然大きな音が出て聴力障害の原因となることがあります。

ご使用について

はじめから音量を上げすぎない



- ・突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- ・電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

設置・接続について

湯煙や湯気の当たるところや湿気・ほこりの多いところに置かない



- ・電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



- ・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因となることがあります。
- ・直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

機器の上に大きいものや重いものは乗せない



- ・バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

不安定な場所に置かない



- ・機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグを抜いておく



電源プラグを抜く

- ・旅行などで長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れについて

お手入れの前には、電源プラグを抜く

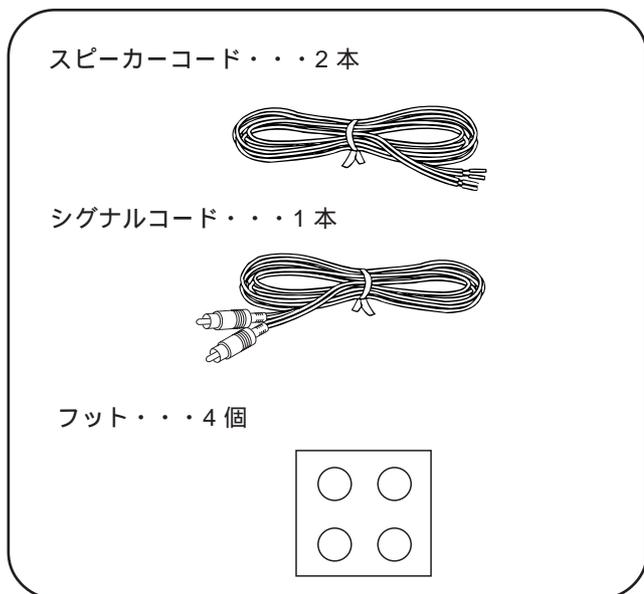


電源プラグを抜く

- ・電源を入れたままにしておくと、感電の原因となることがあります。

付属品の確認

ご使用になる前に本機に添付されている付属品をご確認ください。



使用上のご注意

本機を美しく保つためには

キャビネットやパネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。
汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



音場の改善

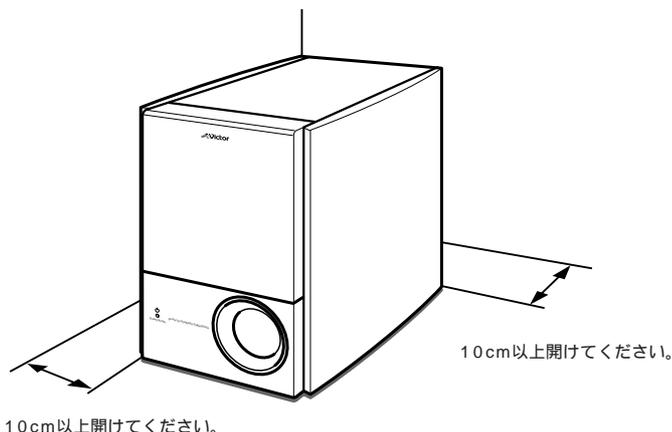
反射または共振を起こしやすい洋間では、厚手のカーテンやジュータンなどをお使いください。
また、スピーカーの正面（向かい側）が固い壁やガラス戸などの場合には、反射や定在波の発生を防ぐ目的で厚手のカーテンなどで吸音処理することをおすすめします。



設置上のご注意

設置上の注意

- ・前面は大きく開けてください。
- ・側面は10cm以上開けてください。
- ・上面は10cm以上開けてください。
- ・裏面は10cm以上開けてください。



キャビネットの変形・変色を防止するため、直射日光や湿気の多い所、冷暖房器の近くなどを避けて設置してください。

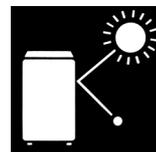
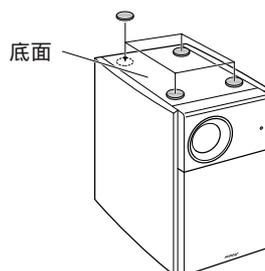
スピーカーの振動でハウリングを起こすことがあります。できるだけプレーヤーから離してください。

地震や衝撃などで倒れないように設置場所を十分考慮し、しっかり固定してください。

本機はカラーテレビに対して色むらを起こさないように防磁処理をしておりますが、設置方法によっては色むらが生じる場合があります。設置の際は、以下の点にご注意ください。

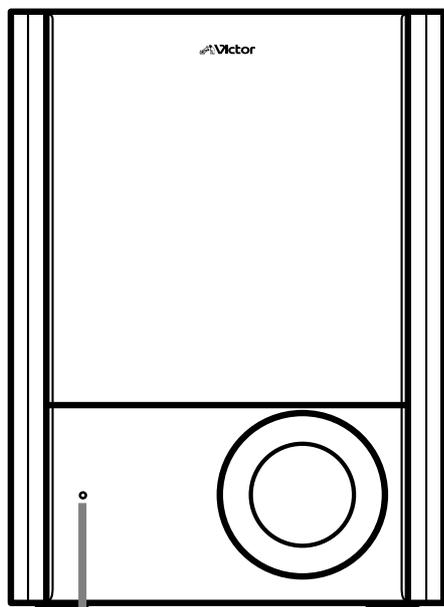
1. 本機と一緒にテレビを使用する場合は、必ずテレビの主電源スイッチを切ってから設置してください。なお、テレビの主電源スイッチは切ってから少なくとも30分後に入れるようにしてください。
2. 本機以外の防磁未処理スピーカーシステムがテレビの近くにある場合は、色むらを生じることがあります。
3. テレビの種類によっては、色むらを生じることがあります。色むらが生じた場合には、テレビより若干離して設置してください。

スピーカーをセッティングする場合、ガタツキ等を防ぐためにフットを貼ることをおすすめします。
置く場所の材質によっては、長期間経過すると多少変色する事が考えられますので、ご注意ください。



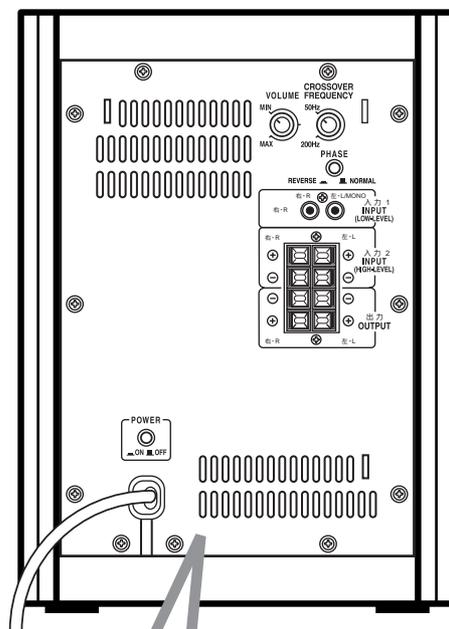
各部の名称と機能

前面



電源ランプ
電源ON時または、スタンバイ状態のときに点灯します。
赤色：スタンバイ状態
緑色：ON状態

背面

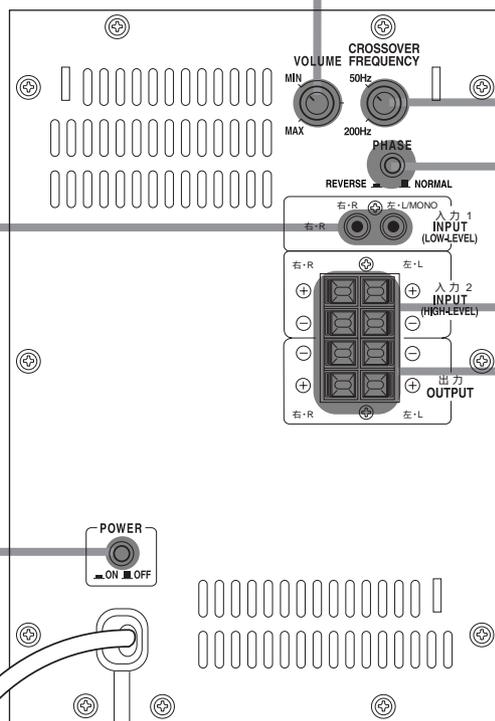


アンプ部

入力 1 端子
(LOW LEVEL)
接続するアンプ等のサブウーハー出力端子や、MONO出力端子、ライン出力端子と接続します。
(詳しくは次ページの「接続」を参照してください。)

POWERボタン
本機の電源ON/OFFをします。

電源コード



VOLUMEつまみ
音量を調節します。

CROSSOVER FREQUENCYつまみ
メインのスピーカーとの音のつながりを調節します。
(詳しくは9ページの「操作方法」を参照してください。)

PHASEボタン
低音が豊かに聞こえる方に切り換えます。

：NORMAL
：REVERSE

入力 2 端子
(HIGH LEVEL)
接続するアンプ等にサブウーハー出力端子がない場合、アンプ等のスピーカー出力端子と接続します。

出力 端子
(OUT PUT)
入力2端子(HIGH LEVEL)にサブウーハー出力端子がないアンプを接続した時に、メインのスピーカーと接続します。
(詳しくは次ページの「接続」を参照してください。)

接 続

全ての接続作業が終了するまで、電源コードは電源コンセントに差し込まないでください。



注意

- ・アンプと接続する際は必ず、アンプ側の電源を切ってから作業してください。
- ・本機の入力 1 端子と入力 2 端子は同時に使用しないでください。ノイズが増えたり故障の原因となります。
- ・本機の入力 1 端子とアンプ等の REC OUT (録音出力) 端子は接続しないでください。

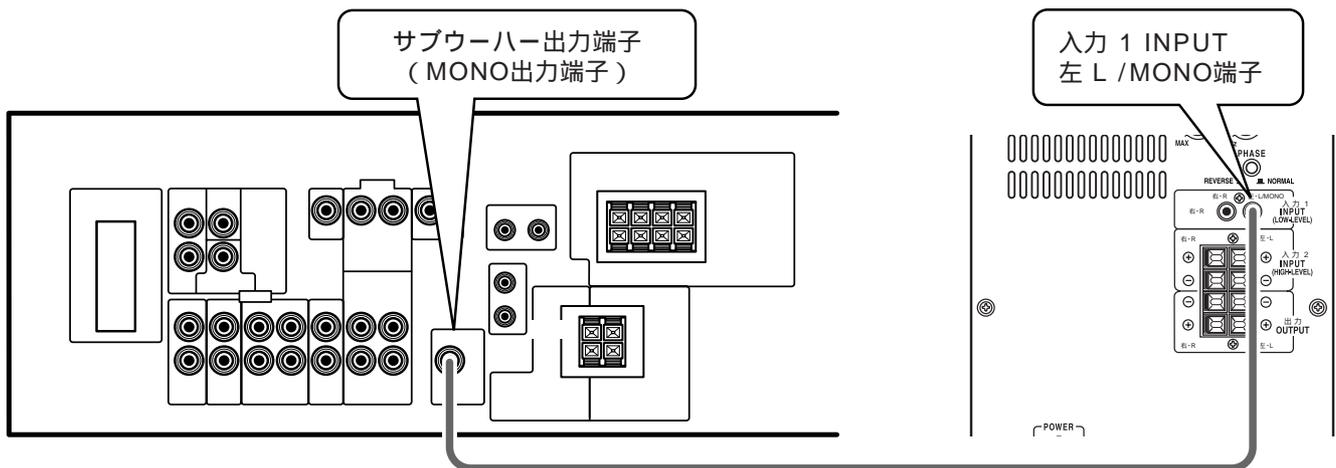


ちょっと一言

接続するアンプ等にサブウーハー出力端子、ライン出力端子の両方がある場合、サブウーハー出力端子と接続することをおすすめします。

また、どちらの出力端子もない場合は、スピーカー出力端子と接続をしてください。

サブウーハー出力端子を備えたアンプや、MONO 出力端子のあるアンプと接続する場合
入力 1 の左 L / MONO 端子に接続してください。(L・R の端子は内部でミキシングされています。)
付属のシグナルコードをご利用ください。

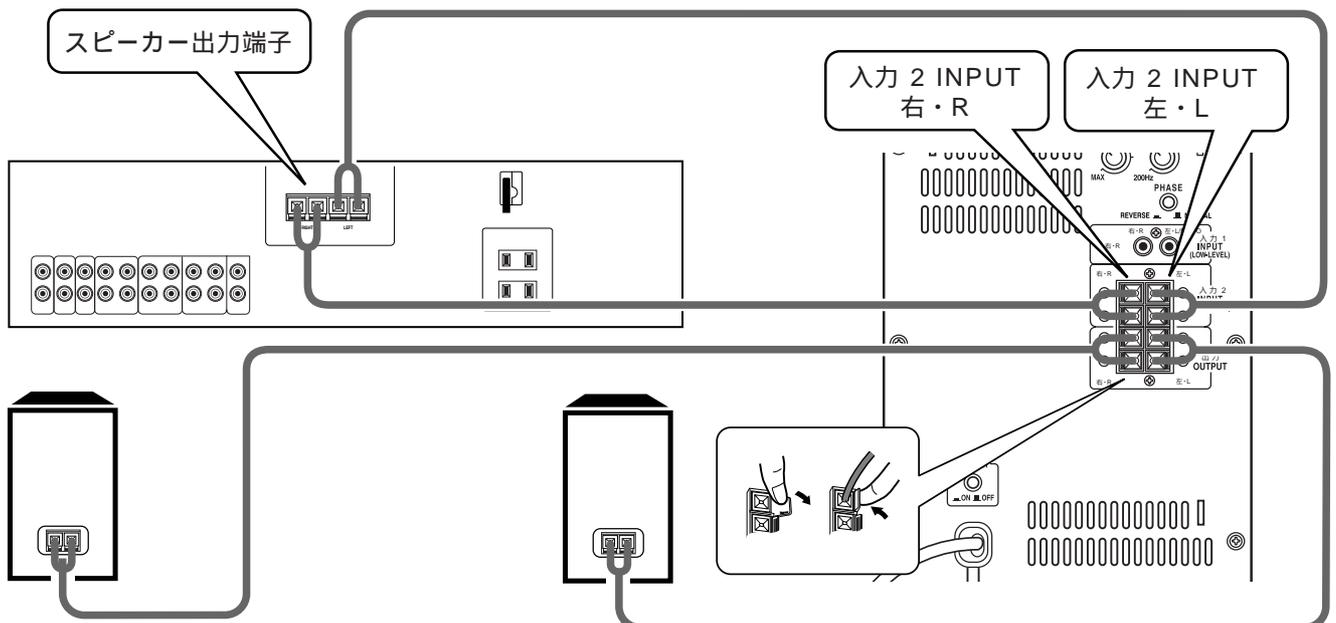


アンプのスピーカー出力端子と接続する場合

アンプのスピーカー出力端子と並列接続してください。

スピーカー端子の右 (RIGHT)、左 (LEFT) と +、- の極性を良く確認して接続してください。

付属のスピーカーコード (付属は 2 本です) をご利用ください。

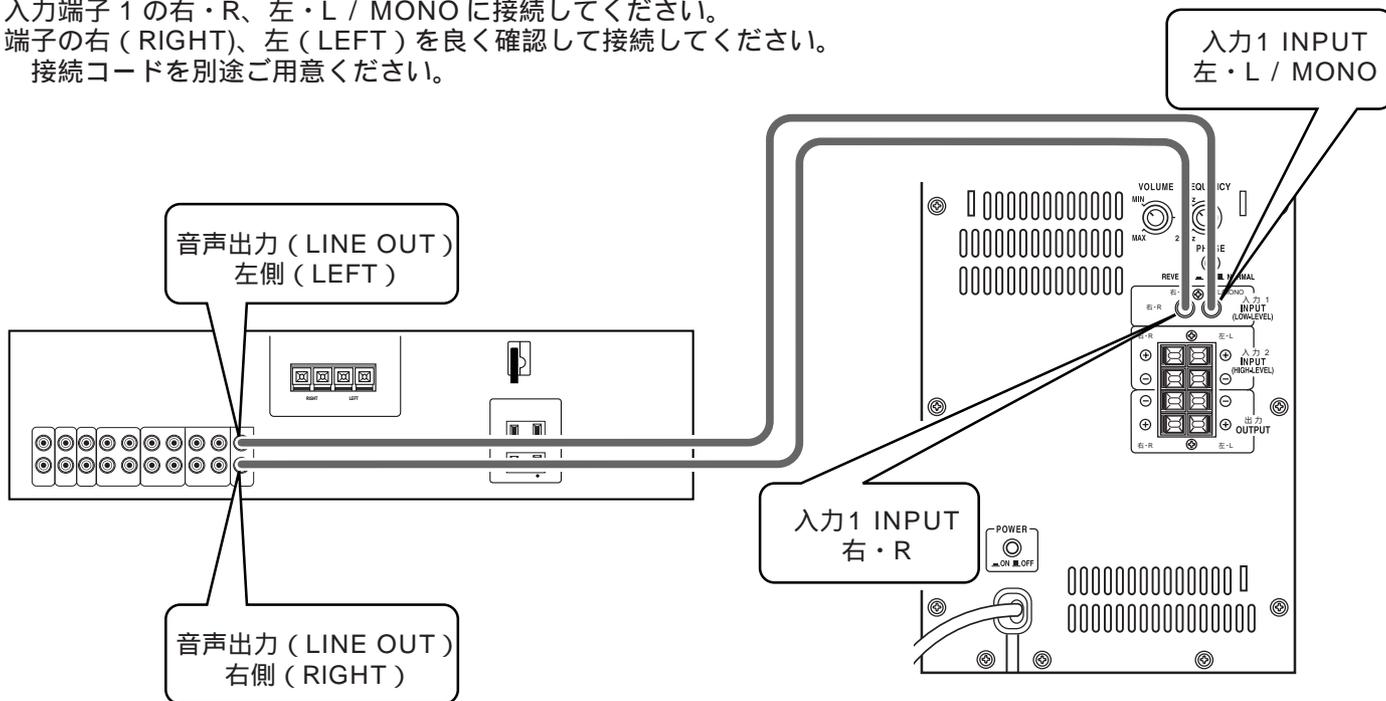


接 続 (つづき)

全ての接続作業が終了するまで、電源コードは電源コンセントに差し込まないでください。

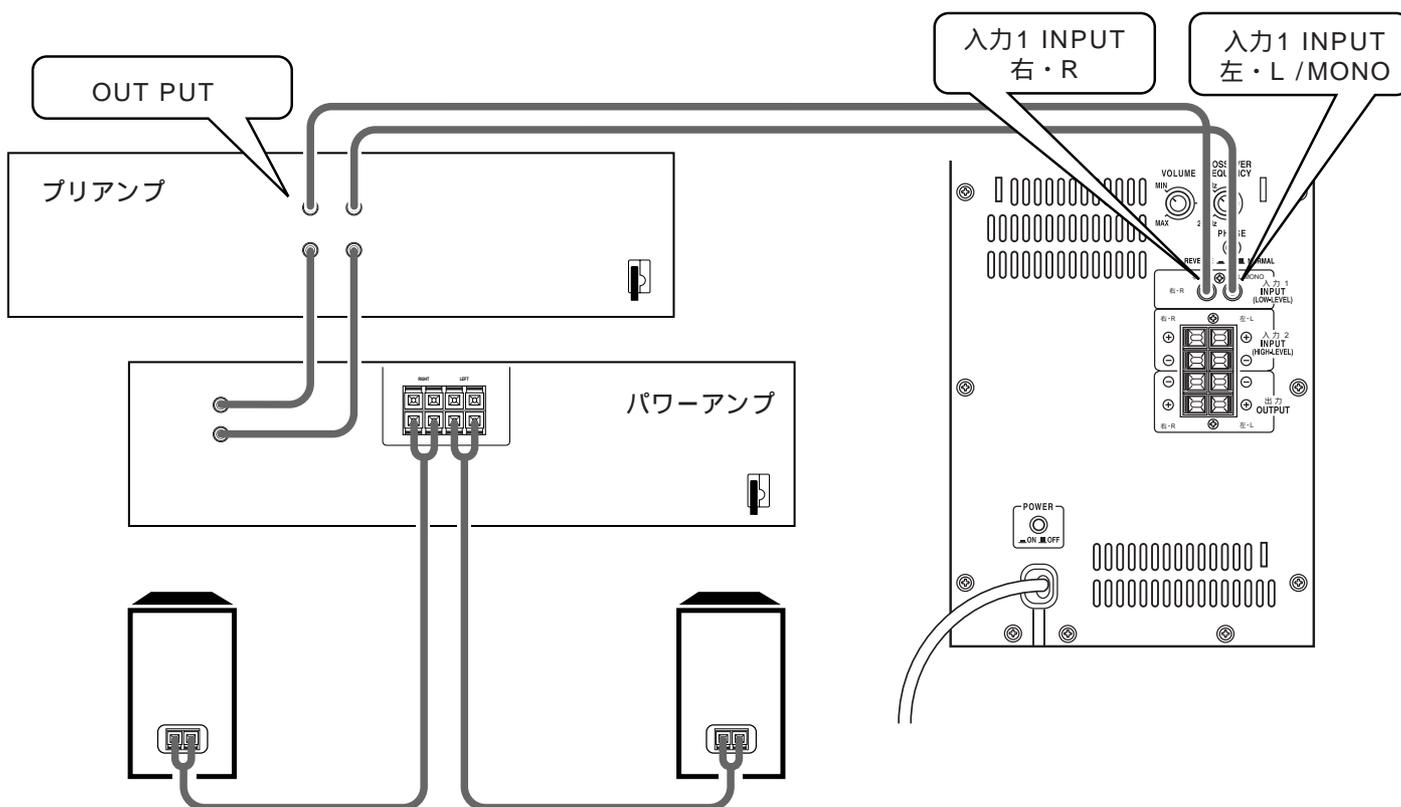
ラインアウト出力端子のあるアンプと接続する場合

入力端子 1 の右・R、左・L / MONO に接続してください。
端子の右 (RIGHT)、左 (LEFT) を良く確認して接続してください。
接続コードを別途ご用意ください。



セパレートアンプと接続する場合

入力端子 1 の右・R、左・L / MONO に接続してください。
端子の右 (RIGHT)、左 (LEFT) を良く確認して接続してください。
接続コードを別途ご用意ください。



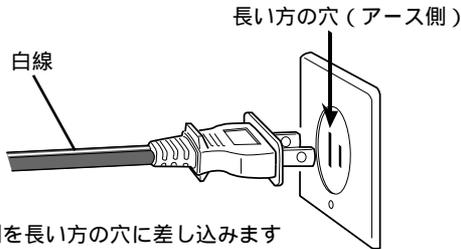
操作方法

アンプ等との接続作業が終了してから、電源コードは電源コンセントに差し込んでください。

電源コードの接続 (すべての接続が終わったら)

本機の電源コードには白いマーキングが片側に入っています。これは各機器の電源コードの極性を合わせることでシステムとしての極性を合わせ、よりよい音質を得るためのものです。

屋内配線や電源事情により異なりますが、一般的にはコンセントの差し込み口の長い方にマーキングがくるように差し込みます。



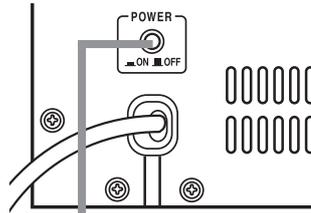
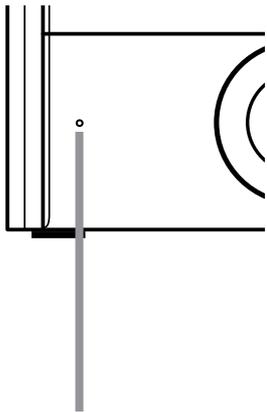
白線側を長い方の穴に差し込みます

アンプの AC OUTLET に差し込む場合は AC OUTLET の使用可能電力が本機の消費電力 (39W) 以上あることを確認してください。

電源を入れる

前面

背面



- ・ POWER ボタン
 - ON : で電源が入ります。
 - OFF : で電源が切れます。

- ・ 電源ランプ (オートパワーオン / オフ機能について)
電源ボタンを ON にすると、電源ランプが緑色に点灯します。その後無信号状態が約 4 ~ 8 分続くと、スタンバイ状態になり、電源ランプが赤色に点灯します。音声信号が入ってくると、自動的に ON 状態になり、電源ランプが緑色に点灯します。

- ON 状態 : 電源ランプが緑色に点灯します。
- スタンバイ状態 : 電源ランプが赤色に点灯します。

注意

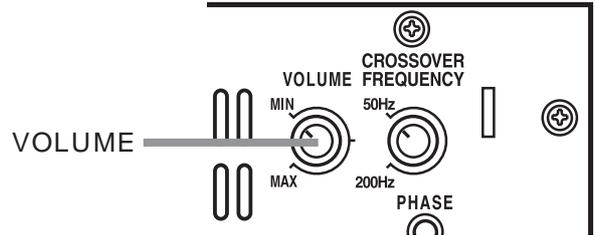
本機のボリュームつまみが MIN 付近になっていたり、アンプの音量が 0 又は、アンプからの音声信号が極端に低いときは、スタンバイ状態から ON 状態に切り換わりません。

- ・ 本機の電源を完全に切るときは、背面の電源ボタンを押して電源を「OFF」にするか、電源コードをコンセントから抜いてください。

音量の調節

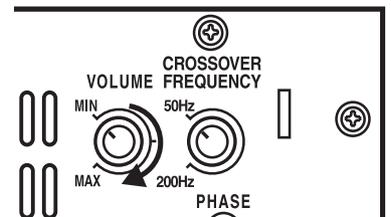
メインのスピーカーとのバランスをとるために音量を調節します。

1. 本機の VOLUME つまみを MIN の位置にします。



2. アンプの音量を普段聞いている程度にし、音楽を再生します。

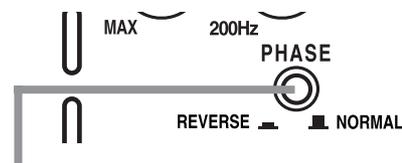
3. 本機の VOLUME つまみを回して、メインのスピーカーの音量とバランスの取れる位置にあわせませす。



本機とメインのスピーカーとのバランスをとった後は、アンプのボリュームを使って、メインスピーカーと同様に本機の音量も調節することができます。

PHASE ボタン

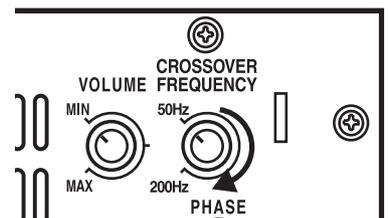
低音が豊かに聞こえる状態に設定します。



- ・ PHASE ボタン
 - : NORMAL (通常はこちらの状態、ご使用ください)
 - : REVERSE (低音が不足しているときは、こちらをご使用ください。)

CROSSOVER FREQUENCY つまみ

メインのスピーカーと本機との音のつながりをこのつまみで調節します。お持ちのスピーカーが小型で中低域が不足している場合は、周波数を高めに設定します。



故障かな？と思う前に

症状	原因	処置
電源が入らない！	電源コードがコンセントから抜けていませんか？	電源コードをコンセントにしっかりはめ込んでください。
音が出ない！	ボリュームつまみがMINになっていませんか？	ボリュームつまみを適当な音量になるまで、回してください。
	接続のしかたをまちがっていませんか？	接続のしかたを確認してください。 (7,8ページを参照してください。)
ハウリングをおこす	設置のしかたは大丈夫ですか？	設置のしかたを確認してください。 (5ページを参照してください。)
	音量を大きくしすぎていませんか？	ボリュームつまみをハウリングがなくなるまで、MINの方向に回してください。

仕 様

種 類	: パワードサブウーハー バスレフ型 / 防磁型 (EIAJ)
使用スピーカー	: 17.0 cm コーンスピーカー
再生周波数帯域	: 25 Hz ~ 200 Hz
入力インピーダンス	: 50 k (LOW-LEVEL) 1 k (HIGH-LEVEL)
入力端子	: 入力1 (LOW-LEVEL) 入力2 (HIGH-LEVEL)
出力端子	: 出力 (HIGH-LEVEL)
電源電圧	: AC 100 V 50 Hz / 60 Hz
内蔵アンプ最大出力	: 60 W (30 Hz 4 EIAJ)
消費電力	: 39 W
スタンバイ時消費電力	: 5.6 W
最大外形寸法	: 横幅 226 mm × 高さ 315 mm × 奥行き 376 mm
質量	: 9.9 kg
付属品	: スピーカーコード (2本) シグナルコード (1本) フット (4個)

ビクターサービス窓口案内 (ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	☎	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	苫小牧 S.S.	(0144)34-6882	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.C.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16 函館あおば生命ビル1F
	東北			
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
岩手	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
	岡 S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
秋田	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
宮城	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
山形	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇四番地8-18
福島	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	郡山 S.S.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
新潟	いわき S.C.	(0246)38-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシフォン101
長野	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市内本内南原2-6-1
	【出張修理専門】のご相談窓口			
新潟	首都サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
長野	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下条2-1366-1
長野	上越 S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-1-1
	【出張修理専門】のご相談窓口			
長野	首都サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
長野	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
群馬	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋 S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
茨城	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東郷郷3-5-22
山梨	土浦 S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸 S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
千葉	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
千葉	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
千葉	木更津 S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3グレイスビル1F
	柏 S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
千葉	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【出張修理専門】のご相談窓口			
千葉	首都サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
東京	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S.	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
東京	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
東京	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
東京	首都メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
	【出張修理専門】のご相談窓口			
埼玉	首都サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
埼玉	大宮 S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
埼玉	川越 S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
	【出張修理専門】のご相談窓口			
神奈川	首都サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
神奈川	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区鶴町1-3-1
	横須賀 S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
神奈川	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2(第2石原ビル)
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
神奈川	相模原 S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4

都府県名	窓口名	TEL	☎	所在地
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春日町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
三重	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二丁目四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	911-8062	金沢市新保本四丁目65-17
	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
	【出張修理専門】のご相談窓口			
京都	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
京都	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
奈良	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
大阪	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
大阪	大阪南 S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
和歌山	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊15811-12
兵庫	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
兵庫	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
	【出張修理専門】のご相談窓口			
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
山口	福山 S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵町3-5-15
	山口 S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
島根	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
鳥取	山陰ビクター販売(株)サービスセンター(松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
鳥取	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
愛媛	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜 S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡 S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区多摩駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀 S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
大分	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
	大分 S.S.	(097)543-1422	870-0882	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-5-9
鹿児島	延岡 S.S.	(0982)35-7707	882-0857	延岡市惣領町2-4-3
	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 1200

略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

保証とアフターサービス (必ずお読みください。)

保証書(別添)

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店または11ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

修理を依頼されるときは

出張修理

10ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	パワードサブウーハー
型名	SP-PW100
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	〒 () -
------	---------	---------

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

11ページの「ビクターサービス
窓口案内」をご覧ください。

東京 ☎(03) 5684-9311
〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル
大阪 ☎(06) 6765-4161
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>



パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1 電話 (027) 254-8952 (ダイヤルイン)